

## 第三者評価結果の公表事項 (児童発達支援施設)

### ① 施設の情報

名称：こども支援センター にじいろ ciel	種別：福祉型児童発達支援センター	
代表者氏名：江島 瞳	定員（利用人数）： 30名	
所在地：大分県中津市大字相原 3375-1		
TEL：0979-53-9625	ホームページ：http://kei-ai-kai.com/	
【施設の概要】		
開設年月日 令和4年6月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 敬愛会		
職員数	常勤職員： 20名	非常勤職員 8名

### ② 理念・基本方針

大きいとか 小さいとか 障がいがあるとか 無いとか 偉いとか そうでないとか 賑やかだとか 静かだとか 様々ある全てのことを個性として尊重し「感謝しながら共に支え合う地域作り」に貢献する法人を目指します。

### ③ 施設の特徴的な取組

- ・ こども一人ひとりの発達・個性を尊重しながら、たくさんの個性（にじいろ）に合わせた支援を行ない、「楽しい」「できる」を大切にします。その子に合わせた療育を行い、「チャレンジできる」「自分に自信が持てる」子に成長できるよう支援していきます。
- ・ ポーテージプログラム(5領域)を基本に、児童発達支援ガイドラインに沿った個別支援計画を作成。新版K式発達検査結果を踏まえて、利用児の発達段階に合わせ、個々に沿った支援内容を行う。

### ④ 第三者評価の状況

評価実施期間（和暦）	令和7年3月10日（評価結果確定日）
------------	--------------------

## ⑤ 総評 (結果)

### ◇特に評価の高い点

- ・施設の設備や環境は充実しており、施設内の清潔感も細かい所まで掃除が行き届いている。ハード面については、子ども達のがびのび、職員達もスペースを気にすることなく療育に専念することができている。
- ・保護者からの評価は高く、満足されておりしっかりと支援されている様子が伺える。特に支援内容の説明や保護者への対応も丁寧に行われており、HUG (アプリ) を使用し、保護者との共有等子供達の様子が良くわかり、安心感に繋がっているものと思われる。家族と情報を共有し、その子供の特性とその子供のバックグラウンド (家庭環境) を知った上で支援を行っている。
- ・マニュアルについても分かりやすくまとめている。
- ・職員に対する研修会が手厚く、育成するシステムがしっかりと構築されている。

### ◇改善を求められる点

1. 他の保育所等との交流は、今後の課題である。
2. 災害時の対応やそのための訓練についてどのようにされているのかという意見があったので、そういった不安や疑問に対する説明や学習機会を設けられるとよい。
3. 研修会が充実している反面、職員の負担を考慮することも考えなければならない。
4. 地域の方々に園のことを知ってもらう機会や方法について考える。

## ⑥ 第三者評価結果に対する施設のコメント

1. 保育園等併用のお子さまは、他児との交流がありますが、他の保育所等での交流が難しい為来年度は、市の委託事業で利用をしてないお子さまの子育て支援を行う予定なので、地域のお子さまとの交流をしていける予定です。
2. 災害時の対応など入園・進級式の時に説明をしていきます。また、ブログ等では訓練の様子を公表していますが、学習機会なども設けようと思います。
3. 職員間でも「研修会が多いのでは」という意見も出ている為、来年度は動画の研修会を含めて、必要な研修を組み立てて計画していく予定です。
4. 地域に向けてのアピールをしていきたいと思っています。身近な地域の方に夏祭りなどに招待したり、少しずつ園のことを知ってもらえるよう努力していきたいと思っています。

※ 総評では、ありがたい評価を頂き本当にありがとうございました。改善点をしっかりと改善できるように、これからも利用者を「真ん中」に頑張っていきたいと思っています。

## ⑦ 第三者評価結果についてホームページにて公表する。

### 【第三者委員会 参加者】

中津市役所	障害福祉課係主幹	黒川 裕基	第三者委員会	委員	松尾 龍助
第三者委員会	委員	坂本 美紀	第三者委員会	委員	島元 卓也
こども支援センターにじいろ ciel	保護者会代表	篠崎 弘美 (欠席)			
こども支援センターにじいろ ciel	施設長	江島 瞳	職員代表	高松 千陽	